

異なる土壌型で生産された米の理化学的特性について

酒井英市・糸瀬貞義・安藤奨

1. 供試品種中,東山 38 号はアルカリ抵抗性は大きく,最高粘度も高く,水溶性固形物も多くて,良質米であり,反対に,シラヌイはその理化学性からみても,品質的に最も劣るものであった。
2. 礫質土壌型では,アルカリ抵抗性が大きく,粘性も強く,水溶性固形物の多い良質な米が生産された。一方細粒質土壌型では,収量は多かったが,良質米に属する品種でも,シラヌイに近い品質の劣った米が生産された。なお粗粒～中粒質土壌型では両者の中間の品質の米が生産された。